

令和2年度の業務実績に関する評価結果報告書(案) 修正新旧対照表

小児医療

(変更前)

堺市評価の判断理由

(目標指標)

目標指標	年度計画目標	実績
小児救急搬送 (内因性) 応需率(%)	90.0	98.2

目標指標に対する達成度は109.1%と非常に高い水準で満たしており、指標評価は4「年度計画を上回って実施している」に該当する。

24時間365日小児救急医療の提供を行い、堺市管内で発生した小児救急の44.5%を受入れ、応需率も98.2%と非常に高い水準となっている。また、堺市こども急病診療センターからの二次後送件数の41.1%を受け入れている。さらに、小児における新型コロナウイルス感染症患者の受入れ要請に全て対応している。

そのほか、神経外来等専門医療の診療枠の拡大、常勤臨床心理士の増員、CAPS研修会により虐待に対する意識の醸成を図るなど、地域の小児医療提供体制の充実に大きく貢献している。

以上の結果から、この小項目については「年度計画を上回って実施している。」と評定し、評価4が適当であると判断した。

評価結果

	R 2	R 3	R 4	R 5
法人自己評価	4			
評価委員会・堺市評価	4			

(変更後)

堺市評価の判断理由

(目標指標)

目標指標	年度計画目標	実績
小児救急搬送 (内因性) 応需率(%)	90.0	98.2

目標指標に対する達成度は 109.1%と非常に高い水準で満たしており、指標評価は 4「年度計画を上回って実施している」に該当する。

24 時間 365 日小児救急医療の提供を行い、堺市管内で発生した小児救急の 44.5%を受入れ、応需率も 98.2%と非常に高い水準となっている。また、堺市こども急病診療センターからの二次後送件数の 41.1%を受け入れている。

小児の新型コロナウイルス感染症患者は、保護者と離れることで不安を抱えたり、マスクの着用ができない等の問題があり、入院受入れを行う病院側のリスクが大きく受入れが難しいにも関わらず、医師や看護師など多くの人材を投入して治療に当たることで、受入れ要請があった全てに対応している。

そのほか、神経外来等専門医療の診療枠の拡大、常勤臨床心理士の増員、CAPS 研修会により虐待に対する意識の醸成を図るなど、地域の小児医療提供体制の充実に大きく貢献している。

以上の結果から、この小項目については「年度計画を上回って実施している。」と評定し、評価 4 が適当であると判断した。

評価結果

	R 2	R 3	R 4	R 5
法人自己評価	4			
評価委員会・堺市評価	4			

周産期医療

(変更前)

堺市評価の判断理由

総合及び周産期母子医療センターと連携することで、安定的な周産期医療の提供に努めた。また、緊急 IVR を 4 件施行し、母体救命に貢献した。

産婦人科と糖尿病内科が協働することで、糖尿病妊婦の周産期における管理を行った。

出産を終えた妊婦を対象に、エジンバラ産後うつ質問票を活用したスクリーニングを行い、支援が必要と判断された妊産婦を保健センターに紹介（68 件）することで周産期及び育児環境のサポートを行った。

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、産前学級や妊婦ヨガの動画を配信するなど妊産婦への情報発信を行った。

助産師の知識と経験を助産師外来、母乳外来及び院内助産に活かすことで妊婦やその家族のニーズに答えた。また、地域の小・中学校で「いのちの授業」を実施し、いのちの大切さや性への理解を深めた。

以上の結果から、この小項目については「年度計画を順調に実施している。」と評定し、**評価 3 が適当であると判断した。**

評価結果

	R 2	R 3	R 4	R 5
法人自己評価	4			
評価委員会・堺市評価	3			

(変更後)

堺市評価の判断理由

総合及び周産期母子医療センターと連携することで、安定的な周産期医療の提供に努めた。また、緊急 IVR を 4 件施行し、母体救命に貢献した。

産婦人科と糖尿病内科が協働することで、糖尿病妊婦の周産期における管理を行った。

出産を終えた妊婦を対象に、エジンバラ産後うつ質問票を活用したスクリーニングを行い、支援が必要と判断された妊産婦を保健センターに紹介（68 件）することで周産期及び育児環境のサポートを行った。

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、産前学級や妊婦ヨガの動画を配信するなど妊産婦への情報発信を行った。

助産師の知識と経験を助産師外来、母乳外来及び院内助産に活かすことで妊婦やその家族のニーズに答えた。また、地域の小・中学校で「いのちの授業」を実施し、いのちの大切さや性への理解を深めた。

新型コロナウイルス陽性妊産婦を受け入れる数少ない医療機関として、妊娠中や新生児を含む分娩時など時期に応じた対応マニュアルの整備、また、受け入れ時のシミュレーションを実施し迅速かつ安全に入院できる体制を構築するなど、大阪府内における周産期医療提供体制の維持に寄与した。結果として受け入れはなかったが、周産期医療体制の維持に寄与したことは評価できる。（評価委員会での意見に対する法人からの回答より）

以上の結果から、この小項目については「年度計画を上回って実施している。」と評定し、評価 4 が適当であると判断した。

評価結果

	R 2	R 3	R 4	R 5
法人自己評価	4			
評価委員会・堺市評価	4			